

(別紙)

令和6年度(令和5年度からの繰越分)障害福祉分野のロボット等導入支援事業
(施設等に対する導入支援分) 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 長野市

【基本情報】

フリガナ	シャカイフクシホウジン ナガノコロニー
法人名	社会福祉法人 ながのコロニー
フリガナ	ハートフルゴミョウ
事業所名	ハートフル五明
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
障害者支援施設	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	
13.7 人	

(1)主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: ☒ 移乗介護 ☐ 排泄支援 ☐ 入浴支援
☐ 移動支援 ☐ 見守り・コミュニケーション

機器名(導入台数): 移乗サポートロボット ハグ 1台

(2)ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D/A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	2 人	2,760 件	33,120 件	10 分	11,040 人時間	2,760 時間
	2 排泄介助・支援	2 人	1,290 件	15,480 件	15 分	7,740 人時間	1,935 時間
	3 生活自立支援(※1)	1 人	630 件	7,560 件	10 分	1,260 人時間	1,260 時間
	4 行動上の問題への対応(※2)	1 人	210 件	2,520 件	15 分	630 人時間	630 時間
	5 その他の直接介護	2 人	630 件	7,560 件	30 分	7,560 人時間	1,890 時間
間接業務	6 巡回・移動	1 人	1,890 件	22,680 件	30 分	11,340 人時間	11,340 時間
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)	1 人	1,260 件	15,120 件	30 分	7,560 人時間	7,560 時間
	8 見守り機器の使用・確認	1 人	0 件	0 件	0 分	0 人時間	0 時間
	9 その他の間接業務	1 人	0 件	0 件	0 分	0 人時間	0 時間
			8,670 件	104,040 件	140 分	47,130 人時間	27,375 時間

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援
※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等
※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

令和6年度4月～12月の実績(利用者21名)から ①各項目ごとに利用者個々の1日に発生する介護件数を算出 ②算出した数の合計数(利用者全員分)×30日

<※2>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

令和6年度4月～12月の実績から 支援員に聴き取りした介護に係る処理時間の平均時間
--

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

※処理時間削減とはならなかったが、2人介助
→1人介助になったことによる業務削減あり

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D/A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	2 人	2,310 件	27,720 件	10 分	9,240 人時間	2,310 時間
	2 排泄介助・支援	2 人	1,200 件	14,400 件	15 分	7,200 人時間	1,800 時間
	3 生活自立支援(※1)	1 人	540 件	6,480 件	10 分	1,080 人時間	1,080 時間
	4 行動上の問題への対応(※2)	1 人	180 件	2,160 件	15 分	540 人時間	540 時間
	5 その他の直接介護	2 人	540 件	6,480 件	30 分	6,480 人時間	1,620 時間
間接業務	6 巡回・移動	1 人	1,620 件	19,440 件	30 分	9,720 人時間	9,720 時間
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)	1 人	1,080 件	12,960 件	30 分	6,480 人時間	6,480 時間
	8 見守り機器の使用・確認	1 人	0 件	0 件	0 分	0 人時間	0 時間
	9 その他の間接業務	1 人	0 件	0 件	0 分	0 人時間	0 時間
			7,470 件	89,640 件	140 分	40,740 人時間	23,550 時間

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

令和6年度1月～3月の実績(利用者19名)から

①各項目ごとに利用者個々の1日に発生する介護件数を算出

②算出した数の合計数(利用者全員分)×30日

<※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

令和6年度1月～3月の実績から

支援員に聴き取りした介護に係る処理時間の平均時間

年間業務時間数想定削減率(%)
13.6%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

1 ケアの質の向上。

2 職員の精神的・肉体的負担軽減。

3 業務の効率化。

4 ヒヤリハット・介護事故の防止。

(5)今後の課題

1 介護時の事故(利用者に対して擦り傷や打撲等のけがをさせてしまう)をなくすこと

2 労働災害(腰痛等)を減少させること

3 人材定着と育成・確保

4 介護業務の効率化を図ること

(6)気づき等について

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円／月)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

移乗介助時(車いす⇄ベッド、車いす⇄トイレ等)に職員が行っていた介護動作を「ハグ」が代わりに行っている。「ハグ」を動作させるときの準備が簡単で、誰にでも操作ができ、使いこなすことができています。利用者が安心して体を預けることができることにより、体力的にも心理的にも職員の負担の軽減になっている。

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

自然な立ち上がりの速さでサポート動作をするため、利用者にとって安心して残存脚力を活用しての移乗が可能となった。体を安心して預けることができる為、移乗の際の利用者の安心感にもつながっている。